

謝晋監督作品

阿片戦争

鴉片戦争
THE OPIUM WAR

祖国を愛し、阿片から
四億の民を守ろうとした
男がいた。



世界の名画を見る会vol.8

(企画・構成 高野悦子)



●講演●

「阿片戦争を見て思うこと」

高野悦子

●上映作品●

「阿片戦争」(中国映画)

'98

7月12日(日)

開場13:00

開演14:00

黒部市国際文化センター コラーレ
(カーターホール)

入場料/1,200円(全席自由)

当日1,500円

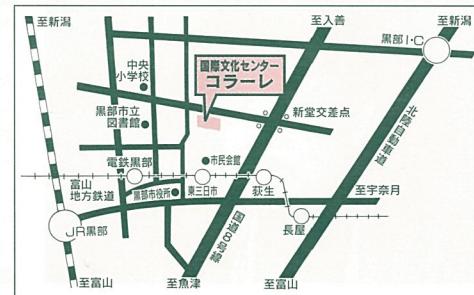
※5歳未満のお子さまの入場はご遠慮願います。
一時保育を希望される方は事前にご連絡ください。

お問い合わせ

財団法人黒部市国際文化センター
TEL(0765)57-1201 FAX(0765)57-1207

プレイガイド

黒部	コラーレ メリシー ロイヤルパリー黒部	(0765)57-1201 (0765)54-2221 (0765)54-1000
魚津	新川文化ホール 魚津サンプラザ	(0765)23-1123 (0765)24-3030
入善	コスモホール コスモ21	(0765)72-1105 (0765)74-9100
朝日	アスカ	(0765)82-2000
守山	セレネ	(0765)62-2000
富山	インフォマート [市民プラザ] [CIC駅前店] 北日本新聞社 富山県民会館 富山映画サークル	(0764)91-0110 (0764)44-7013 (0764)45-3300 (0764)32-3111 (0764)32-3931



謝晋(シエ・チン)監督作品

阿片战争

鴉片戦争

THE OPIUM WAR

1997年 中国映画/2時間30分/35ミリ/シネマスコープ/カラー/デジタルサウンド

製作:峨眉映画製作所

四川(鴉片戦争)影視制作有限公司

(成都進通城市合作銀行、中華民族文化促進会、上海謝晋一恒通影視有限公司、上海精文投資有限公司)

配給:株式会社東光

STAFF 監督:謝晋/企画:許鞍華/脚本:朱蘇進/撮影:侯咏/音楽:金復載、黄漢琪

CAST 鮑国安(林則徐)、蘇民(道光皇帝)、高遠(善兒)、ボブ・ベック(テント)

エマ・グリフィス・マリン(マリー)、郎雄(何敬容)、邵峰(何善之)



香港返還と阿片戦争

1997年7月1日、イギリス領であった香港が一世紀半ぶりに中国に返還された。いつ、どのような経緯で香港はイギリスの植民地となり、長い試練の年月を送るようになったのか。その要因となったのが、阿片戦争(1840-1842)である。清朝の阿片禁輸に端を発し、イギリスが清を攻撃したことから阿片戦争は始まった。長い鎖国のために、近代化に取り残された清は、この戦争で大英帝国の最新の軍備の前に敗れた。その時に結ばれた南京条約(1842)によって、清はイギリスに多額の賠償金を支払い、香港の割譲を余儀なくされた。この歴史的事件は世界に衝撃を与え、日本などアジア諸国にとって、近代史の幕開けともなった。



『芙蓉鎮』『乳泉村の子』の 巨匠謝晋監督が描く歴史大作

映画「阿片戦争」は、謝晋監督が最新の研究資料を分析し、香港、台湾、日本、イギリスの研究者、映画人を結集して、完成させた歴史大作である。中国映画史上最高といわれる製作費1億元(日本円で14億円)は、謝晋監督の呼び掛けによって、すべて民間から集められた。阿片戦争は通商上の戦いであると唱える。欧米の一方的な視点が根強くあった。しかし、謝晋監督は、この映画で、清朝の凋落していく様子やイギリスの策略など、戦争に至る過程を客観的にリアルに再現して、歴史の真実の姿に迫った。

中国近代史のヒーロー、林則徐

映画は、阿片厳禁論を掲げ祖国の危機に立ち向かった林則徐を中心に描かれる。1838年、林則徐は欽差大臣(特命全権大使)として広州に赴任した。当時、年間4万箱もの阿片が密輸入されていた。その頃のイギリスでは、阿片を吸引した者には極刑を課していたという。その阿片輸出によって、イギリスは、中国からの輸入超過分を是正しようとしたのだ。阿片は、政府高官から庶民にいたるまで蝕み、国家財政の4分の3に当たる多額の銀貨がイギリスに流出していた。林則徐は、イギリスおよび国内の阿片商人を徹底的に取り締まり、没収した2万箱の阿片を人工池で廃棄した。これを機にイギリスの反撃が始まり、阿片戦争へ発展する。

中国、香港、台湾、イギリスの 演劇・映画人が結集

林則徐を演じるのは、中国演劇界を代表する鮑国安(バオ・クオアン)。阿片商人・何敬容には、映画「恋人たちの食卓」(94)で知られる台湾の舞台俳優、郎雄(ラン・ション)、その息子・何善之に、台湾の人気俳優、邵峰(シャオ・シン)。イギリスの阿片商人デントを、ロイヤル・シェイクスピア劇団の名優ボブ・ベックが演じている。こうした経験豊かな舞台出身の俳優たちの演技が、この作品に重厚さを持たせている。さらに、イギリス部分のシーンは「女人四十」(95)などで知られる香港の女性監督・許鞍華(アン・ホイ)が協力している。